

特別展

墨は流すもの — 丸木位里の宇宙 —

したたかに、
奔放に。

Maruki Iri A Retrospective

丸木位里《雨乞》1939(昭和14)年 広島県立美術館蔵

2020年 9月1日(火)~10月11日(日)

前期：9月1日(火)~9月22日(火・祝) 後期：9月24日(木)~10月11日(日)

*前期・後期で一部展示替えがあります。

開館時間：午前9時~午後5時(入場は午後4時30分まで) *ただし9月1日(火)の一般公開は正午から

休館日：毎週月曜日[ただし9月21日(月・祝)は開館]、9月23日(水)

観覧料：一般 800円/高校・大学生 400円/中学生以下無料

*コレクション展(三岸節子常設展示室)観覧料を含みます。*20名以上の団体は2割引

*一宮市内の満65歳以上の方、身体障害者手帳等を持参の方(付添人1人を含む)は無料

主催：一宮市三岸節子記念美術館/中日新聞社/丸木位里展実行委員会

助成：(一財)地域創造

協力：原爆の図丸木美術館

KHINOMIYA CITY
MEMORIAL ART MUSEUM
of SETSU NO MUSEUM



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
Tel:0586-63-2892 Fax:0586-63-2893

http://s-migishi.com

丸木位里の宇宙

「原爆の図」の作者として広く知られる丸木位里(1901-1995)。妻・丸木俊(赤松俊子)との共同制作である同シリーズは国際的にも高く評価されていますが、位里の画家としての全体像を「原爆の図」だけでとらえることはできません。特筆すべきなのは、昭和10年代に始まる幅広い前衛的な表現の追求、とりわけ水墨を用いた実験的な創作とその成果と言えるでしょう。

丸木位里は1920(大正9)年、「丸木月吼」の名で第5回広島県美術展に出品したことが知られています。記録として残る最初の公募展への挑戦からちょうど100年となる2020年は、位里の没後25年にもあたります。この節目の年に開催する本展覧会は、これまでの先行研究を土台とし、新知見を加えながら、その画業の全貌を紹介する過去最大の回顧展です。

今回は「原爆の図丸木美術館」にご協力いただき、戦後の代表作である「原爆の図」シリーズのほか、関連作家の作品も交えながら、位里の初期から晩年までの約80点を一堂に展示いたします。「墨は流すもの」と語り、水墨表現の可能性を追求し続けた丸木位里の「宇宙」をどうぞご覧ください。



①



②



③



④



⑤

会期中イベント

講演会

テーマ「流れる水の批評精神

—丸木位里の絵画と生き方—

日 時: 10月3日(土) 午後2時~4時(開場1時30分)

講 師: 岡村幸宣氏(原爆の図丸木美術館学芸員)

参加費: 無料

定 員: 先着60名

申込み: 不要(当日直接会場)

場 所: 講義室

ワークショップ

「位里さんの絵のひみつ

水墨画と日本画たいけん！」

【子ども向け】 9月26日(土) 午後2時~4時

【大人向け】 9月27日(日) 午前10時~正午

講 師: 内田あぐり氏(日本画家、武蔵野美術大学名誉教授)

木島孝文氏(日本画家)、古石紫織氏(日本画家)

内 容: 丸木位里の作品を鑑賞した後、実際に墨や岩絵具、日本画の画材を使って各自が作品を制作し、丸木位里の多様な表現の一端を体験します。

参加費: 無料

定 員: 各回20名(抽選)

対 象: 【子ども向け】小学生・中学生(小学3年生以下は保護者同伴) 【大人向け】高校生以上

申込み: 9月10日(木)までに電話(0586-63-2892)、メール(migishi@city.ichinomiya.lg.jp)、ハガキ(〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1)にて、郵便番号・住所・参加者名(ふりがな)・保護者名・学年・電話番号・参加希望日を記入し「丸木位里ワークショップ」と明記の上ご応募ください。申込み多数の場合は抽選とし、結果を郵送します。

場 所: 講義室

スペシャル・ギャラリートーク

日 時: 9月20日(日) 午後2時~

講 師: 永井明生氏

(ふくやま美術館学芸担当次長)

参加費: 無料(要観覧券)

申込み: 不要(当日直接会場)

場 所: 特別展会場

紙芝居『ちっちゃい こえ』読み聞かせ

日 時: 9月12日(土) 午前11時~

9月21日(月・祝) 午後2時~

読み手: 中須賀朱美氏(朗読ぐるーぷ言の葉)

参加費: 無料

申込み: 不要(当日直接会場)

場 所: 講義室

学芸員によるギャラリートーク

日 時: 9月22日(火・祝)、10月10日(土)、各日 午後2時~

参加費: 無料(要観覧券)

申込み: 不要(当日直接会場)

場 所: 特別展会場

- ①丸木位里《花王》1943(昭和18)年 原爆の図丸木美術館蔵
- ②丸木位里《牡牛》1967(昭和42)年 原爆の図丸木美術館蔵 前期展示
- ③丸木位里《残波岬》1987(昭和62)年 佐喜真美術館蔵 後期展示
- ④丸木位里・丸木俊《原爆の図 第4部 虹》1951(昭和26)年 原爆の図丸木美術館蔵 後期展示
- ⑤丸木位里《馬(部分)》1939(昭和14)年 原爆の図丸木美術館蔵 前期展示

リピーター割引

本展は前・後期で、約三分の一の作品を入れ替えます(前期は9/22(火・祝)まで)。本展入館券の半券を、観覧日翌日以降の会期中にご提示いただければ、通常料金から2割引までご入館いただけます(1枚につき1名様1回限り有効。他割引との併用不可)。前後期お越しの際はぜひご利用ください。

同時開催

コレクション展(常設展) 「油彩のきらめき—ヨーロッパの風景—」

9月1日(火)~12月20日(日)

【巡回情報】

富山県水墨美術館

11月13日(金)~12月27日(日)

新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、予告なく中止・変更となる場合があります。

一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1

メールアドレス migishi@city.ichinomiya.lg.jp <http://s-migishi.com>

[@s.migishi.museum](https://www.facebook.com/s.migishi.museum)

[@s.migishi.museum](https://www.instagram.com/s.migishi.museum)

[@s_migishi_muse](https://twitter.com/s_migishi_muse)

【交通案内／公共交通機関をご利用の場合】名古屋駅より電車とバスで約40分

●JR東海道本線(名古屋駅⑤⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは約15分間隔で運行] ●岐阜羽島駅(東海道新幹線)よりタクシーで約20分

